

赤旗読者ニュース
北上かわら版

戦争許さない、野党結集の拡大を！

「きたかみ平和フォーラム」が総会開催

「きたかみ平和フォーラム」（高橋洋明運営委員長）は19日、2023年度総会をさくらホールで開催し、2022年度（12月19日）までの活動と収支決算、2023年度運動方針および新役員選出についての議案を承認しました。

高橋運営委員長は、「私たちは県内でいち早く立ち上げた市民と野党の共同組織として前進してきた。情勢はこれから変化するが丸となった頑張りていきたい」とあいさつ。佐藤ケイ子県議は、「平和フォーラムは2016年に結成し、市民と野党の結集をはかり市民にアピールしてきた。いま敵基地攻撃能力、戦争のための財源づくりの話ばかりであるが、知事選など『反自民』で頑



総会が開催されたさくらホール内の会場（12月19日）

張っていきこう」などあいさつしました。

この間の活動

- 総会では、前回総会（2017年9月4日）以降の活動報告がされましたが、あらためて2016年2月28日に会が結成されて以降の活動を紹介します（選挙結果については知事選以上）。
- 2016年7月10日投票 参院選：木戸口英司氏当選
 - 2017年10月22日投票 衆院選：小沢一郎氏当選
 - 2017年11月24日 「沖繩の基地問題を考えるつどい」講師山城博治氏（平和運動センター議長）日本現代詩歌文学館200名。
 - 2018年5月18日 「アベ政治を許さない市民集会・デモ」さくら野百貨店前集会 150名。
 - 2019年4月5日 「前川喜平さん時局講演会：森友加計学園問題」さくらホール 1200名。
 - 2019年7月21日投票 参院選：横沢高徳氏当選
 - 2019年9月8日投票 衆院選：達増拓也氏当選

あいさつする高橋洋明委員長（右端）



運動方針

2023年度運動方針は、軍拡・防衛費拡大、改憲を断固阻止し、立憲主義、民主主義、平和主義に基づいた市民結集をはかり、来年の統一地方選に取り組みとしています。

新役員体制

参加者からは、「市民と野党共同は集团的自衛権行使を可能にする安保法制（戦争法）撤回を掲げて立ち上げた。いま岸田内閣はまさに敵基地攻撃能力を保有し、米軍とともに先制攻撃能力を持つ『戦争国づくり』に向かっている。これは絶対に止めなければならない。知事選も自民党との一騎打ちの様相だ。いまこそ、野党結集の強化・拡大に取り組む事が重要」、「いま、憲法を軽んじて戦争ができる国につくり変えようとしている。自公政権に対抗できる政権が必要ではないかと、最近特に感じる」などの発言がありました。

新役員体制については、運営委員長は高橋洋明氏が勇退し、菊地靖氏が、事務局局長は、千田和博氏が勇退し、齋藤健市氏が選出されました。高橋、千田両氏は顧問に就任となりました。

- 2021年5月16日 「山口二郎時局講演会」：コロナ感染拡大により中止。
- 2021年10月31日投票 衆院選：小沢一郎氏（比例復活当選）
- 2022年7月10日投票 参院選：木戸口英司氏次点
- 2022年9月19日 「安倍元首相の国葬に反対する市民集会」さくら野百貨店前100名。

（裏面に続く）



あいさつする齋藤新事務局局長



あいさつする菊地新委員長



ピラカンサ

またまたご近所の庭先で恐縮です。
ピラカンサです。
実がびっしり枝に鈴なり。この間の雪がかぶさって、いっそう真っ赤な実がきわだっていました。図鑑で調べたら原産はヒマラヤとありました。どうりでそれっぽいなと思いました。
「これから鳥が来て、この実食べるんですよ！種は出すので庭が種だらけになるの！そこでそこにスズメガきて食べるので、大さわぎになって！」奥さんが声を弾ませて話してくれました。
春には白い花が咲くので今から待ち遠しくなりました。

(12月17日 S)

(表面の続き)
きたかみ平和フォーラム設立趣意書
2016年2月28日に結成された「きたかみ平和フォーラム」の設立趣意書は次のようになっています。
◆ ◆
今、我が国の立憲主義、民主主義、平和主義が危機的状況にあります。昨年(2015年)9月に安倍晋三政権は、これまで歴代政権が行使を認めてこなかった集団的自衛権の行使を可能とする安全保障法制の成立を強行したからです。これは、戦後日本の国民的合意である平和国家・専守防衛の国を捨て去ろうとするものです。
◆ ◆
現在、全国各地で様々な市民団体による野党総結集を望む行動が広がっています。こうした市民の声が届いたかのように、去る2月19日野党5党首会談が行われ、「憲法違反の安全保障関連法を廃止する法案を衆議院に共同提出すること」「集団的自衛権行使を容認した閣議決定の撤回を目指す」、国会や国政選挙で協力して政権打倒を目指すこと」が確認されました。
このように、いよいよもって立憲主義、民主主義、平和主義を国民の手に取り戻す大行動を展開する機運が高まってきました。ここ北上・岩手の地から、二度と戦争のない平和でより良い地域や社会を作るために共に立ち上がりましょう。
きたかみ平和フォーラムでは、趣意書に賛同する方々の個人、団体に広く参加を呼びかけています。



きたかみ平和フォーラム結成総会 (2016年2月)



「敵基地攻撃」は戦争を呼び込む

憲法改悪阻止北上連絡会が宣伝

12月19日、憲法改悪阻止北上連絡会がさくら野百貨店前で「大軍拡・戦争国家反対宣伝」を行いました。
◆ ◆
いま、憲法をめぐる情勢は危機的状態です。岸田内閣はウクライナ情勢に便乗した敵基地攻撃能力保有、核共有を言い出し、最近では岸田総理が軍事費をGDP比2%に引き上げ世界第3位の軍事大国

を目指すとNATOや欧米諸国に約束してきました。その具体化として12月10日安全保障3文書の骨子を発表し、自民、公明両党が5年間で43兆円にもなる大軍拡方針を合意したと報じられています。これはそれまでの専守防衛を投げ捨て、巡航ミサイル、トマホークを含む各種ミサイルの大量保有とされており、集団的自衛権行使で日本が攻撃されてないのに

敵基地を攻撃することになり、相手国からすれば先制攻撃とされ、ミサイルで反撃し日本の基地を攻撃することになります。これは日本の安全を守るどころか、戦火・戦争を日本に呼び込むことになり、絶対にこの国家安全保障戦略は許してはなりません」と街頭から訴えました。